(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 5 月 9 日

長野県知事様

提出者

住 所 駒ヶ根市 北町 22-1番地

氏 名 株式会社ヤマウラ 土木支店 支店長 竹内 孝広

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0265-82-4812

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業	業 場 の)名:	称	株式会社ヤマウラ 土木支店
事業	巻場の!	所在	地	駒ヶ根市 北町 22 - 1番地
計	画	期	間	令和5年4月1日~令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

事業の種類	06 総合建設業
事業の規模	元請完成工事高 25億円/年
従 業 員 数	22名
産業廃棄物の一連 の処理の工程	・木くず 再生処理業者へ委託 木材チップとして再資源化 ・金属くず 再生処理業者へ委託 製鋼原料として再資源化 ・がれき類 再生処理業者へ委託 再生砕石として再資源化 ・混合廃棄物 再生処理業者へ委託 選別後破砕

(日本工業規格 A列4番)

(SE = M)													
産業	美廃棄物の処理に係る 領	管理体制!	こ関する	事項									
	(管理体制図)												
	本社技術本部	x社技術本部											
	支店長												
	工事現場管理責任者 工事現場管理責任者												
産業	 美廃棄物の排出の抑制	こ関する	 事項										
		ı		 和4年度) 実績】								
		-	<u>·~、、</u> 廃棄物σ		<u>別紙1のとお</u>	<u>. </u>							
		排	出	量	別紙1のとおり		,						
	 現状					t	t t						
	7,5 ().	(これまでに実施した取組) 											
					標値を設定し、: います。	プレカ	リットの促進、梱包材の削減な						
		【目標】											
		産業	廃棄物σ)種類	別紙1のとお	IJ							
		排	出	量	別紙1のとおり	t	t						
	計画	(今後実施する予定の取組)											
		各建設現場に於いて、目標値を設定し、プレカットの促進、梱包材の削減な どにより削減に努めます。											
産業	・ 美廃棄物の分別に関する	る事項											
		 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)											
	現状												
		(今後分	別する	予定の産	産業廃棄物の種類が	及び分	別に関する取組)						
	計画	木くず・金属くず・がれき類・混合(管理型)・混合(安定型)											

自身	5行う産業廃棄物の再	生利用に関する事項									
		【前年度(令和4年度)実績】	別紙1のとおり								
		産業廃棄物の種類									
	1H /17	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t							
	現状	(これまでに実施した取組)									
		特に実施していない。									
		【目標】別紙1のとおり									
		産業廃棄物の種類									
	±1—	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t							
	計画	(今後実施する予定の取組)									
		実施する予定はない。									
自日	行う産業廃棄物の中	間処理に関する事項									
	i	▼光左帝(A104左帝)帝/佳】	ロルグィクトナル								
		【前年度(令和4年度)実績】	別紙1のとおり								
		産業廃棄物の種類	別点のとあり	_							
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った産 業廃棄物の量	別版TUDとあり t	t							
	現状	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った産		t							
	現状	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った産 業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した	t								
	現状	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った産 業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	•							
	現状	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t								
	現状	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特に実施していない。	t								
	現状	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特に実施していない。 【目標】別紙1のとおり産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t								
	現状	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特に実施していない。 【目標】別紙1のとおり産業廃棄物の種類自ら熱回収を行う	t t	t							
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特に実施していない。 【目標】別紙1のとおり産業廃棄物の種類自ら熱回収を行う産業廃棄物の量自ら中間処理により減量する	t t	t							

自日	っ行う産業廃棄物の埋立	Z処分又は海洋投入処分に	関する事項							
		【前年度(令和4年度)) 実績】 別紙1の	とおり						
		産業廃棄物の種類								
	現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t						
	<i>-</i>	(これまでに実施した取	-							
		特に実施していない。								
		【目標】別紙1のとおり)							
		産業廃棄物の種類								
	±1.00	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t						
	計画	(今後実施する予定の取組)								
	美廃棄物の処理の委託に	実施する予定はない。 上関する事項								
		【前年度(令和4年度)) 実績】							
		産業廃棄物の種類	別紙1のとおり							
		全処理委託量	別紙1のとおり t	t						
		優良認定処理業者への 処理委託量	別紙1のとおり t	t						
		再生利用業者への 処理委託量	別紙1のとおり t	t						
	現状	認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の	別紙1のとおり t	t						
		熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙1のとおり t	t						
		(これまでに実施した取 建設産業廃棄物処理委託 す。		制に基づき処理を行っていま						

(第5面)

	【目標】	
	産業廃棄物の種類 別紙1のとおり	
	全処理委託量 別紙1のとおり t	t
	優良認定処理業者への 別紙1のとおり 処理委託量 t	t
	再生利用業者への 別紙1のとおり 処理委託量 t	t
1 = 1 = 1	認定熱回収業者への 別紙1のとおり 処理委託量	t
計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 別紙1のとおり	
	t t	t
	(今後実施する予定の取組) 建設産業廃棄物処理委託契約を締結し、各法規制に基づます。	うめ理を行っていき
事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

実績:前年度産業廃棄物排出量

令和 5年度産業廃棄物処理計画書(産業廃棄物の実績及び計画の量) 単位: 単位: 計画: 当年度産業廃棄物排出量の目標値

		<u>국제 3</u>	十尺注》			日音(<u>住業併業初の美領及び計画の事</u> 自ら行う中間処理								- 及在来洗来物計山里の口信息							
産業廃棄物の種類		総排出量 自ら直接再生利用した 量等を含めた事業場に おける産業廃棄物の合 計量		(打つた(行つ)重 直接再生利用した 自ら直接再生利用する を含めた事業場に 量と自ら中間処理を		自ら熱回収を 行った(行う)量		中間処理前の量から中 間処理後の量を引いた		入処分する量と自ら中間処理した後に自ら埋立・海洋投入処分する		自社内で処理を行わず 直接委託した量と自ら 中間処理した残さ量の うち処理業者に委託し		への処理委託量 優良認定処理業者(廃 棄物の処理及び清掃に 関する法律施行令第6		再生利用業者への 処理委託量 中間処理後、有効利用 されている場合の委託 量(委託先から別の英 者に売却等される場合 を含む。)		認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収施設設置者 (廃棄物の処理及び清 の3の3第1項の認定 を受けた者)		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 認定熱回収施設設置者 以外の熱回収を行って いる処理業者への焼却 処理委託量	
	•	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
	1 燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
* ±	2 汚泥	1.76	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.76	1.50	0.00	0.00	1.76	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00
14	3 廃油 4 廃酸	2.20	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.20	2.00	0.00	0.00	2.20	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
律	4 廃骸 5 廃アルカリ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	6 廃プラスチック類	5.40	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.40	5.00	0.00	0.00	5.40	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	1 紙〈ず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	1 MK(9 2 木〈ず	193.09	190.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	193.09	190.00	0.00	0.00	193.09	190.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	2 パペタ 3 繊維〈ず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	4 動植物性残さ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	5 ゴム〈ず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	6 金属(ず	5.94	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.94	5.00	0.00	0.00	5.94	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
政	7 ガラス〈ず·コンク リート〈ず及び陶磁器〈 ず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	0	0
令	8 鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	0	0
	9 がれき類	4,875.15	4,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4,875.15	4,800.00	0.00	0.00	4,875.15	4,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	10 家畜ふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	0	0
	11 家畜の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	0	0
	12 動物系固形不安 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	0	0
	13 ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	0	0
	14 処分するために処 理したもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	0	0
	混合廃棄物(管理型)	25.74	25	0	0	0	0	0	0	0	0	25.74	25	0	0	25.74	25	0	C	0	0
	混合廃棄物(安定型)	1.1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1	1	0	0	1.1	1	0	C	0	0
	合 計	5,110.38	5,029.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5,110.38	5,029.50	0.00	0.00	5,110.38	5,029.50	0.00	0.00	0.00	0.00

総排出量 = 自ら再生利用を行った(行う)量 + 自ら中間処理により減量した(する)量 + 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量 + 全処理委託量 【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績(現状)を右に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、右欄にそれぞれの内訳を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行った(行う)量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。